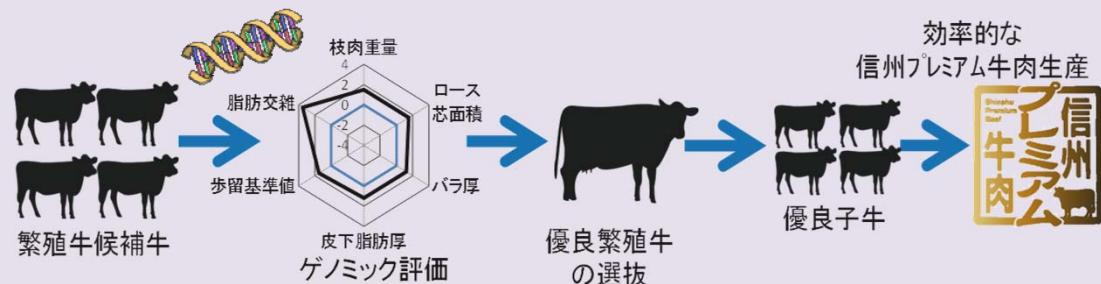


【全体概要】長野県では和牛を美味しさの基準で認定する「信州プレミアム牛肉」として全国に先駆けてブランド化しているものの、国際的競争の激化から、より一層の競争力の強化が求められている。そこで、ゲノミック評価の導入により効率的に黒毛和種繁殖牛の経済形質等を改良していく。この取組を通じて実需者や消費者の嗜好に合った牛肉生産を推進するとともに、生産性の向上を図り、「信州プレミアム牛肉」の生産基盤の強化及び和牛繁殖・肥育農家の収益確保を目指す。

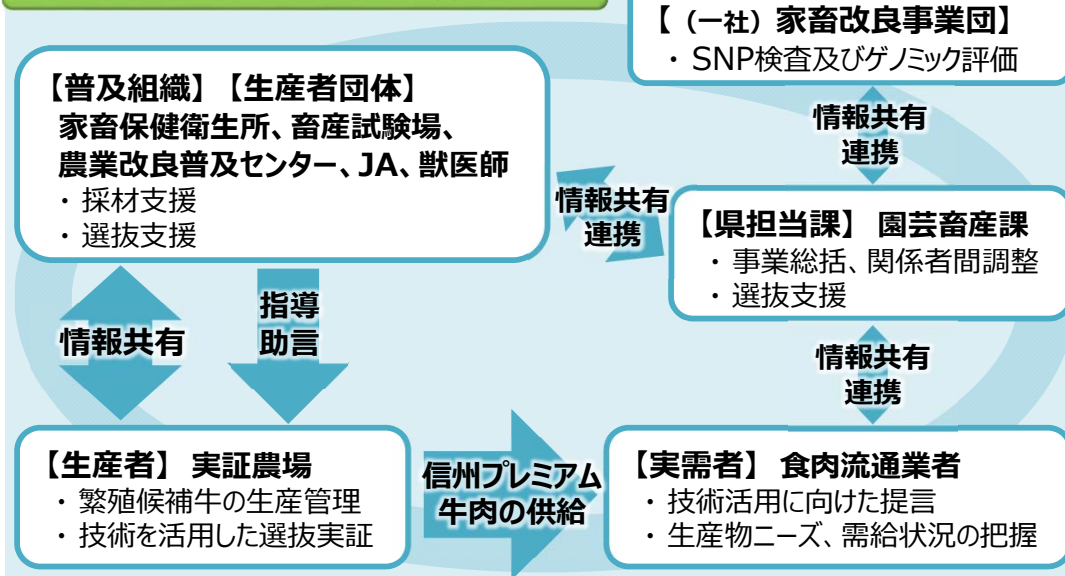
新品種・新技術等の概要

【ゲノミック評価技術】

DNA情報を利用し家畜の遺伝的能力を評価する技術。
DNA上のSNPを検査することで推定育種価よりも早く、個体ごとの遺伝的能力を評価することができる。



コンソーシアム候補の体制図



主な取組内容

- ・ 事業推進会議及びゲノミック研修会の開催
- ・ ゲノミック評価実証農場の選定
- ・ SNP検査用試料の採材及び検査結果に基づくゲノミック評価の実施
- ・ ゲノミック評価の結果に基づく繁殖牛選抜検討会の開催
- ・ 早期普及に向けた既往技術との比較調査
- ・ 実需者との意見交換会

課題と今後の対応

- ・ 現地実証試験として繁殖牛のゲノミック評価を実施し、評価結果等に基づき後継牛を選抜したが、採材方法等の普及については課題が残った。
- ・ 今後も引き続き生産者向けの研修や実需者を含めた関係者との情報共有を行い、関係者間の意識の醸成を図る。
- ・ ゲノミック評価を活用した和牛改良を推進し、実需者が求める枝肉生産に向けた子牛の生産を促していく。